

## 平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城南中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。これは、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成27年4月21日(火)

### ■ 調査の対象学年

中学校3年生

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、数学A、理科〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、数学B、理科〕
<ul style="list-style-type: none"><li>身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

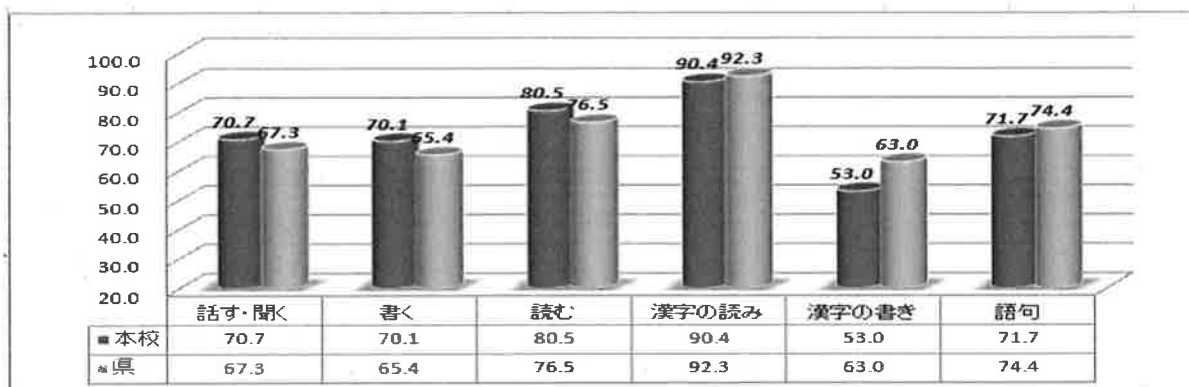
### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生(小学6年生)と限られた学年が対象であり、教科は国語と数学(算数)、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 国語（1年）

#### (1) 結果



- ・全体として県平均レベルにある。
- ・理解できている生徒と、そうでない生徒と二極化がみられる。
- ・漢字や語句の無回答が多い。
- ・「国語」を苦手と感じている生徒がいる。

#### (2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>話すこと・聞くこと</b> （目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり聞き取ったりする力）	
考察	・概ねできている。
課題	・聞き取った言葉から類推したり、要点を抽出したりすること。
対策	・授業時だけでなく、日頃より話を聞いてメモする習慣をつけさせる。 ・「学び合い」を取り入れ、話す聞くの表現力の向上を図る。
<b>書くこと</b> （相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く力）	
考察	・小学校時の丁寧な指導もあり、文章を書くことに抵抗感をもつ生徒は少ない。
課題	・問題を適切に読みとり、設問内容に対し適切に答えること。
対策	・学活ノートやメモなどを利用し、単語ではなく文章で書かせる。
<b>読むこと</b> （目的に応じて様々な文章を読み取ったり、読書に親しんだりする力）	
考察	・読むことに抵抗なく取り組める生徒が多い。 ・長文の問題にも積極的に取り組む姿勢がある。
課題	
対策	・初見の語彙に対して意味を想像して読みを深める指導を行う。 ・朝読書・新聞コラムの活用を行う。
<b>伝統的な言語文化と特質に関する事項</b> （音声、語句・語彙、文法、文字を正しく整えて書く力）	
考察	・時間配分が上手くできず、漢字・語句の設問を解くことができていない。
課題	・問題全体を見通し、時間配分を設定すること。
対策	・テストの解き方トレーニングを行う。 ・定期的な漢字テストを実施する。 ・文脈の中で適切に言葉を遣う力をやしなう。

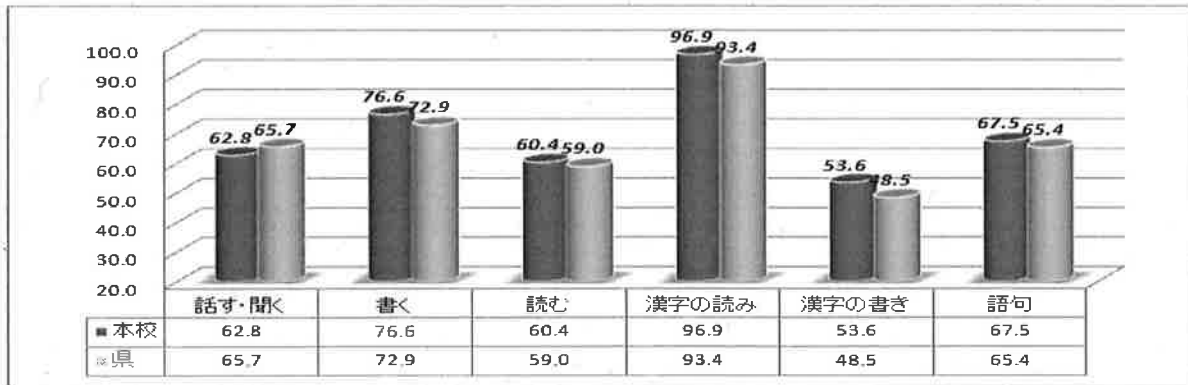
#### ご家庭へのお願い

- ① 文章を読み要点や意図を捉えることは、子どもたちによって大切なものになります。毎日、新聞を読み、ニュースを聞いて共通の話題のもと、ご家庭での会話を楽しんでください。
- ② 日記を書いたり、時間を決めた短時間の読書も、知識と理解力が高まります。

■調査結果及び考察

国語（2年）

(1) 結果



- ・6項目中5項目が県平均を上回っている。
- ・基礎的言語力はついたと思われる。
- ・条件を正確に把握できず、正しく理解しないまま解答している。

(2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>話すこと・聞くこと</b> <i>（目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり聞き取ったりする力）</i>	
考察	・条件に合わせて適切に表現する問題での正答率が低い。
課題	・問題文を正確に読む。
対策	・目的や意図に応じ、正しく理解し、効果的に相手に伝わるような表現を身につけさせる。
<b>書くこと</b> <i>（相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く力）</i>	
考察	・意味の分かりにくい文を、正しい接続詞を使って分かりやすい文にする問題が十分ではない。
課題	・「書く」ことの習慣化
対策	・条件に合った短作文をさらに取り入れる。
<b>読むこと</b> <i>（目的に応じて様々な文章を読み取ったり、読書に親しんだりする力）</i>	
考察	・説明的文章においても、文学的文章においても、県平均を上回っている ・複数の条件が重なった問題に対する正答率が低い。
課題	・読書の習慣が読解力につながってはいるが、正確な読み取りができていない。
対策	・朝読書の励行や音読の重要性について知らせる。
<b>伝統的な言語文化と特質に関する事項</b> <i>（音声、語句・語彙、文法、文字を正しく整えて書く力）</i>	
考察	・授業時や課題での漢字の取り組み等、反復学習の効果が表れている。
課題	・文法問題や、適語を判断する力が十分でない。
対策	・定期的な漢字テストや帯単元として漢字や語彙力を意識した学習を取り入れる。

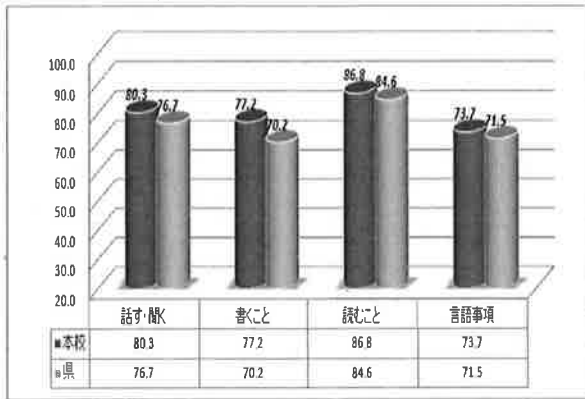
ご家庭へのお願い

- ① 新聞を読み、ニュースを聞いて、共通の話題をもとにご家庭での会話を楽しんで下さい。
- ② 日記を書いたり、時間を決めた読書をしたりすることで、知識と理解力が高まります。

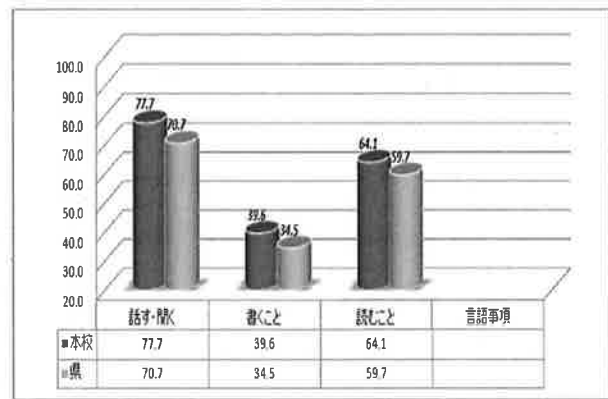
■調査結果及び考察

国語（3年）

(1) 結果（A：知識）



結果（B：活用）



(2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>話すこと・聞くこと</b> （目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり聞き取ったりする力）	
考察	・日常的に話し合いなど授業において行っている効果がでている。
課題	・「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」「必要に応じて質問し情報を聞き出す」「目的に沿って発言を検討する」など情報を活用する力が不足している
対策	・情報を整理し、活用してまとめる学習を取り入れる。 ・グループワークによる話す・聞く活動を多く取り入れることで、コミュニケーション能力を高め、交流活動の精度を高め。
<b>書くこと</b> （相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く力）	
考察	・ウェブページに関することやインターネットに関することなどについては日常的に使用している生徒が多い。
課題	・日本語の文法に則った正しい文章表現ができること。
対策	・正しい言葉を正しく使えるよう、日常から辞書を活用するなど語彙力の定着を図る。
<b>読むこと</b> （目的に応じて様々な文章を読み取ったり、読書に親しんだりする力）	
考察	・読書好きの生徒が多い。 ・小説など文学的文章での人物の読み取りはできる。
課題	・評論などの説明的文章での主張など身近でないものに対しては苦手意識がある。
対策	・普段からさまざまな文章に触れその差をなくす。 ・朝自習の時間を活用し、朝読書・新聞のコラムの利用を図る。
<b>言語事項</b> （音声、語句・語彙、文法、文字を正しく整えて書く力）	
考察	・漢字学習の習慣化及び辞書に親しむ活動の効果が表れている。
課題	・適切な語句を選択するなど語彙力の不足。
対策	・課題作文の指導の際や、意味調べでの辞書を引く回数を増やし、使用する言葉のバリエーションを増やす。

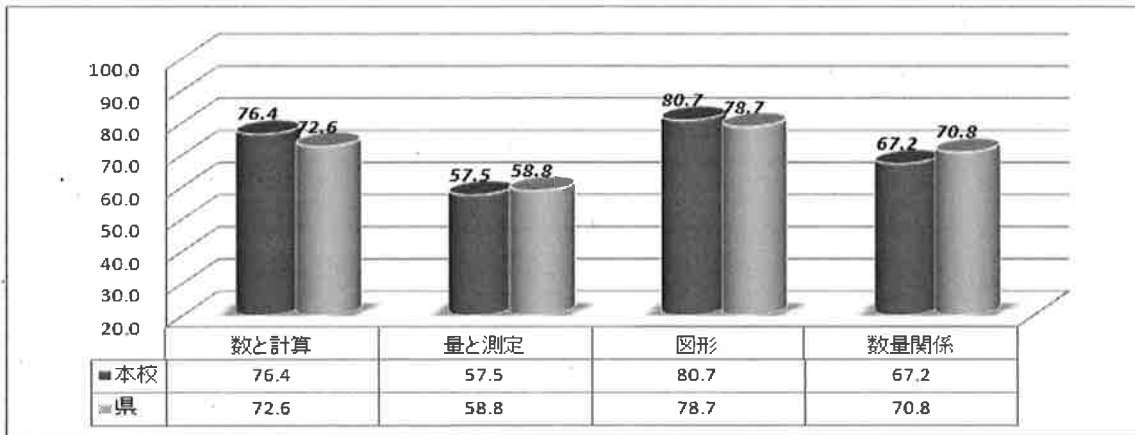
ご家庭へのお願い

- ① 毎日、新聞を読み、ニュースを聞くことを進めてください。
- ② 日常生活の中から、敬語やことわざ等を自然と身につけられるよう、アドバイスをおねがいします。

## ■調査結果及び考察

### 数学（1年）

#### (1) 結果



- ・全体として県平均正答率とほぼ同じである。
- ・全ての設問において無回答率が少ない。
- ・意欲的に設問に取り組んでいる。

#### (2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>数と計算</b> (小数・整数・分数の混じった計算、分数のかけ算とわり算、文字と式など)	
考察	・基本的な計算問題は正答率が高い ・分数や小数のかけ算に対する苦手意識はすくない
課題	・計算力の定着
対策	・定期的な小テスト、すすすくテストの実施
<b>量と測定</b> (図形の面積、速さ、量と単位など)	
考察	・示された考えが正しいかどうかを記述する設問の正答率が低い
課題	・式や言葉の遣い方で正答の条件を十分満たさない解答があること
対策	・「学び合い」を取り入れた授業を行い、話す・聞くなどの表現力の向上を図る
<b>図形</b> (点・線対称の図形など)	
考察	・多くの生徒が概ね理解できている
課題	
対策	・観察や操作、実験などの活動をとおして理解を深めていく
<b>数量関係</b> (比、比例と反比例、並べ方と組み合わせ方など)	
考察	・苦手意識をもっている生徒が多い
課題	・正比例や反比例など、2数量の関係を捉えること
対策	・日常生活の具体的な場面で指導工夫する (電気料と金額など)

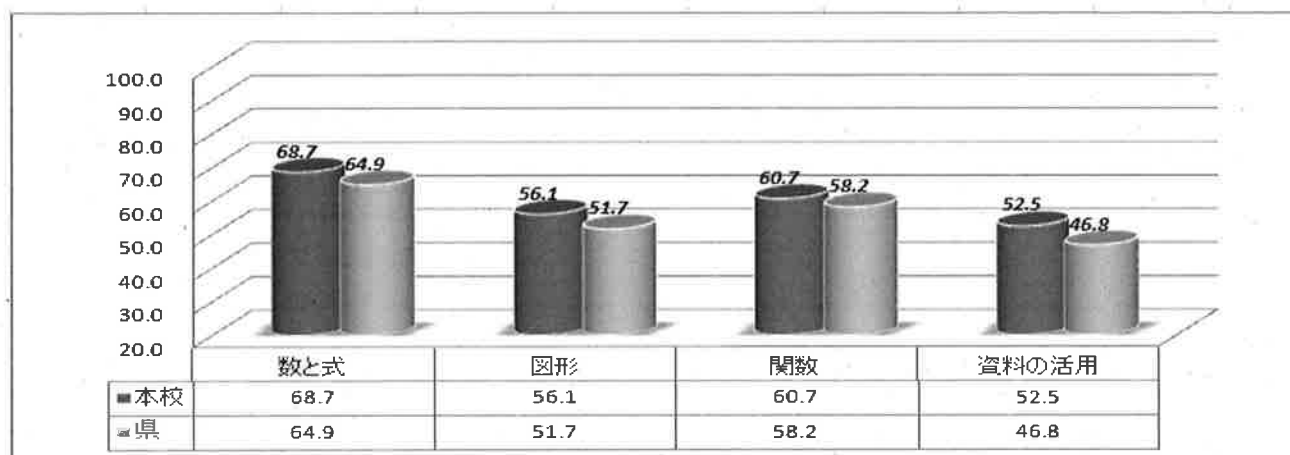
#### ご家庭へのお願い

- ・授業で取り扱った内容を、再度、家庭で取り組みましょう。
- ・日常生活の場面で、数学的な課題を見つけ、楽しみをもって一緒に考えてみましょう。  
(様々な建造物や物体から形の名称・面積・体積、時刻表から電車の平均の速さなど)
- ・一緒に買い物に行って、商品の金額を想定させましょう。  
(合計、割引、個数と金額、消費税8%と10%)

## ■調査結果及び考察

### 数学（2年）

#### (1) 結果



- ・全体として県平均正答率を上回っている。
- ・県と比較しても、全体的に無回答率は低い傾向にあり、あきらめないで取り組む姿勢が見られる。
- ・数学に関する語句などを問う問題の正答率が低い傾向にある。

#### (2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>数と式</b> （正の数・負の数の計算、文字式の計算、方程式など）	
考察	・かっこがついた文字式の計算におけるミスが多い傾向にある。 ・方程式の基本問題における無回答率が5.4%と県平均より高い。
課題	・計算ミスを減らす。
対策	・定期的な小テスト、すくすくテストの実施
<b>図形</b> （角の二等分線の作図、球の表面積など）	
考察	・理由を問う問題や公式を使って解く問題における正答率が低い。
課題	・学習期間に間があくと、公式や作図など忘れる傾向にある。
対策	・定期的に復習問題に取り組みせ、既習事項を想起させる。
<b>関数</b> （比例、反比例など）	
考察	・比例に関しては、式、グラフなどの理解は高い。
課題	・反比例に関する問題に対して苦手意識をもつ生徒が多い傾向にある。
対策	・身の回りの中にある関数に目を向ける指導場面を取り入れる。
<b>資料の活用</b> （最頻値、度数分布など）	
考察	・資料の傾向を読み取る問題における正答率が高い。
課題	・取り扱う時数が少ないことから、重要な語句を忘れてしまう傾向が見られる。
対策	・定期的に復習問題に取り組みせ、既習事項を想起させる。

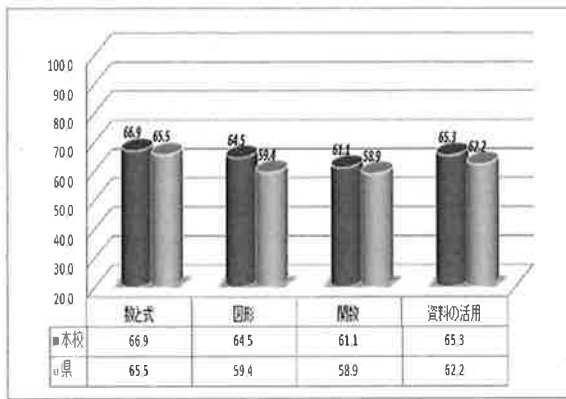
#### ご家庭へのお願い

- ・授業で取り扱った内容を、再度、家庭で取り組みましょう。
- ・日常生活の場面で、数学的な課題を見つけ、楽しみをもって一緒に考えてみましょう。  
（様々な建造物や物体から形の名称・面積・体積、時刻表から電車の平均の速さなど）

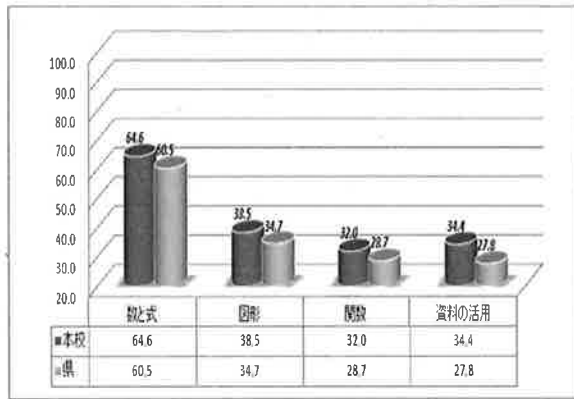
■調査結果及び考察

数学（3年）

(1) 結果（調査A）



(調査B)



- ・全体として、A問題B問題ともに県平均正答率を上回っている。
- ・B問題の資料の活用における正答率は県を大きく上回っている。

(2) 考察、課題と学校での取り組み

<b>数と式</b> (正の数・負の数の計算、文字式の計算、方程式など)	
考察	・式が与えられ、計算することはできるが、文章問題から立式をすることに時間を要する。
課題	・割合に関する問題への苦手意識が高い傾向が見られる。
対策	・文章問題から立式する問題に多く取り組ませる。
<b>図形</b> (図形の性質、平行移動など)	
考察	・基礎的な図形の知識は身につけているが、それを用いて説明する問題に対する無回答率が高い傾向にあった。
課題	・図形に関する知識を活用する力を高める必要がある。
対策	・普段の授業の中で、既習事項を用いて説明するような学び合う場を設定する。
<b>関数</b> (比例、反比例、一次関数など)	
考察	・グラフや式から比例や反比例などの数量関係を見出すことができる。
課題	・具体的に身の回りを例に取り上げた問題に関する苦手意識の高さが見られる。
対策	・身の回りの中にある関数に目を向ける指導場面を取り入れる。
<b>資料の活用</b> (資料など)	
考察	・基本的な用語を理解している生徒が多い。 ・与えられた資料を整理したり、資料を的確に処理したりする力が高い傾向がある。
課題	
対策	・さらに復習問題に取り組ませ、理解を深めていく。

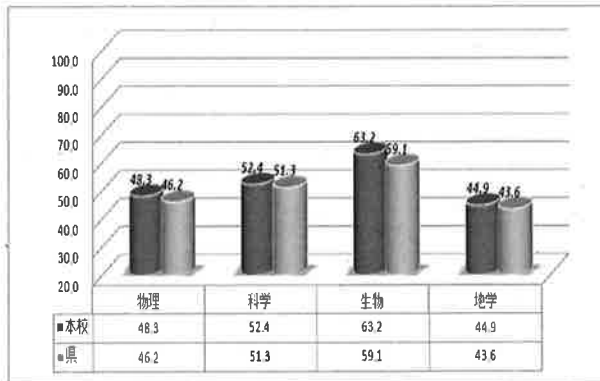
ご家庭へのお願い

- ・授業で取り扱った内容でわからない問題はその日のうちに理解するように努めましょう。
- ・予習、復習を積極的に行いましょう。

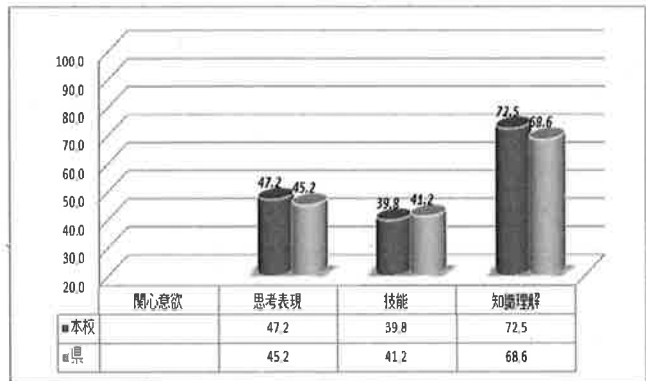
## ■調査結果及び考察

### 理科（3年）

#### (1) 結果（分野別）



#### (観点別)



- ・「分野別」の結果では4項目すべてで、「観点別」の結果では3項目中2項目で、県の正答率を上回った。
- ・県の正答率を下回った「観察・実験の技能」の改善を図る必要がある。
- ・実験結果を文章で表現することにも課題が残る。

#### (2) 考察、課題と学校での取り組み

**科学的な思考・表現**（自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。）

考察	・選択肢がある問題の誤答が目立つ
課題	・キーワードに着目し、文末までしっかり読み取る
対策	・共に学びあう活動を取り入れた授業を行い、話す・聞くなど表現力の向上を図る ・テストでは、文末に注意し、問題文をしっかり読む 早く済んだら見直しをする

**観察・実験の技能**（観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。）

考察	・観察器具の操作方法を理解した上で解答しなければならない問題にミスが見られた
課題	・観察・実験器具の操作の定着を図る
対策	・なるべく一人一人に観察・実験器具の操作をさせる

**自然事象についての知識・理解**（自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。）

考察	・5問出題され、すべての問題で県の正答率を上回った
課題	
対策	・今後も小テストやテスト対策の課題などで、定期的に既習内容の振り返りを行うことで、基礎基本の定着を図る

#### ご家庭へのお願い

- ・自然にふれる経験の多い生徒、理科が将来役に立つと考えている生徒ほど正答率が高い傾向があります。自然科学に関するニュースなどを家庭の話題にしたり、自然を感じるレジャーや散歩に出かけたりするのも楽しいものです。



## ■生活習慣や学習習慣に関する調査

### 結果

調査項目	1年生		2年生		3年生	
	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)
朝食を毎日食べている(「どちらかといえば、してる」を含む)	91.9	94.9	90.8	93.0	96.2	94.7
普段、11時には寝ている	71.3	74.3	41.8	50.1	76.4	77.3
毎日同じ時刻に起きている(「どちらかといえば、してる」を含む)					95.5	93.6
平日2時間以上テレビを見る	56.9	57.1	57.0	53.4	58.0	55.1
平日2時間以上ゲームをする	30.7	25.5	25.1	26.1	38.7	31.1
平日2時間以上通話やメール、インターネットをする	16.2	15.7	21.2	21.9	39.2	25.2
平日読書を30分以上している	32.5	41.4	39.8	37.7	35.8	34.5
学校図書館や地域の図書館を全く利用しない	36.9	27.0	42.7	37.1	55.7	45.6
新聞を読んでいる					17.0	21.4
地域の行事に参加している	50.0	72.8	28.5	58.0	21.6	48.4
家の手伝いをしている	84.4	84.1	70.2	75.1		
新聞やテレビ、インターネットでニュースを見るか			72.9	76.2	77.9	81.5

### 【1年生】

#### 実態

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは概ねできていると言える。
- ・地域行事の参加については、半数は参加しているが、県平均と比べると20%以上低い。
- ・ゲームについては、長時間している生徒が5%ほど多い。
- ・読書については、30分以上読書をしている生徒が県平均よりも約10%少ない。

#### 対応

- ・地域行事への積極的な参加・協力を促すよう、呼びかけを行っていく。
- ・テレビやゲームについてのルール作りを学校や家庭でしっかりと行う。
- ・朝読書や読み話りの時間の充実等を行い、読書習慣をさらにしっかりと身につけさせる。

### 【2年生】

#### 実態

- ・「普段、11時には寝ている」の項目が県平均より低く、さらに昨年と比較すると29.5%も低い。
- ・「2時間以上テレビを見る、メールやインターネットをする」割合が高くなっている。
- ・図書館を利用しない割合が県平均や昨年よりも高くなっている。

#### 対応

- ・長時間のテレビ、メール、インターネットが習慣にならないように注視していく。
- ・積極的な地域行事への参加、協力、呼びかけを行っていく。
- ・社会の動きに関心を持つように、朝の会や帰りの会等で、世の中で起こった出来事を話す。

### 【3年生】

#### 実態

- ・平日に2時間以上通話やメール、インターネットをする生徒が40%近くいる。
- ・図書館を全く利用しない生徒が約56%おり、県平均と比べて多く、活字離れが懸念される。
- ・地域の行事に参加する生徒が県の平均以下と、大変低い数字になっている。

#### 対応

- ・健康の自己管理についての場の設定を行う。
- ・朝読書の徹底を行う。

#### ご家庭へのお願い

- ・「おはよう」「お帰り」「お休みさない」などの声かけを行い、生活のリズムが崩れないように家族で行ってください。
- ・家族の話あい中でのルールづくりをお願いします。(ゲーム、TV、インターネット・・・)
- ・社会の出来事(事件・事故、スポーツ、芸能・・・)も話題にできるといいですね

## ■家庭学習に関する調査

### 結果

調査項目	1年生		2年生		3年生	
	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)
平日2時間以上勉強している(塾・家庭教師を含む)	29.4	25.8	35.7	26.4	34.1	30.1
学習塾(家庭教師)で勉強している	46.2	41.1	52.3	45.1	54.4	50.6
自分で計画を立てて勉強している(どちらかといえば、してるを含む)	70.6	67.2	50.4	53.9	51.2	50.2
家で、学校の宿題をしている(どちらかといえば、してるを含む)	98.1	97.9	98.0	93.2	93.8	91.9
家で授業の予習をしている	73.7	59.0	51.6	43.7	59.7	36.1
家で授業の復習をしている	75.7	70.1	65.6	60.4	65.3	58.1

#### 【1年生】

##### 実態

- ・本校は県平均に比べ、授業に意欲を持ち、進んで家庭学習にも取り組むことができている生徒が多い。
- ・約7割の生徒が依然として2時間以下の勉強時間である。
- ・読書に関しては、個人差が大きく、まったく利用しない生徒もいる。

##### 対応

- ・将来の進学や就職について考えさせる機会を設定し、学習に対する意識を高める。
- ・自己肯定感をもって自己実現を果たしていけるよう支援する。
- ・朝読書の充実を図ります。

#### 【2年生】

##### 実態

- ・平日2時間以上勉強している生徒は、県平均より多く、1年時より4.13%増加している。
- ・学校の宿題はほとんどの生徒ができており、1年時より1.8%増加している。
- ・自分で計画を立てて勉強している生徒は県より低く、1年時より7.8%落ち込んでいる。また、予習、復習をしている生徒も県より高いが、1年時より下がっている。

##### 対応

- ・班活動を通じて、自分の考えや意見を言える生徒の育成に努める。
- ・具体的、計画的な職場体験や進路学習に取り組ませる。
- ・将来の夢や目標を持たせる指導を行い、夢の実現へ向け、努力させる。

#### 【3年生】

##### 実態

- ・県と比較して家庭学習への取り組みは良好である。
- ・受験期にある3年生なので、学年+1時間は学習時間の確保は必要である。

##### 対応

- ・生徒一人ひとりが効果的な学習法を身につけ、学力の向上に結びつけることができるような教師の支援、指導を行う。
- ・学習の量を質の充実を図らせる。

##### ご家庭へのお願い

- ・目的や目標をもって主体的に学習するよう励ましてください。
- ・将来の夢や目標、進路設計について親子で話題にしてください。
- ・計画的に学習が進んでいるか、声かけをお願いします。
- ・時には一緒に気分転換をされたりして、安心できる居場所を作ってください。

## ■心の内面の様子

### 結果

調査項目	1年生		2年生		3年生	
	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)	本校(%)	県(%)
学校に行くのは楽しい(「どちらかといえば、そう思う」を含む)	93.1	92.9	86.7	85.9	77.8	82.8
みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことはある					82.9	81.6
先生はあなたの良いところを認めてくれている					61.9	66.1
社会で起こっていることに興味がある					52.3	59.3
学校の規則を守っている					93.7	93.3
人の気持ちの分かる人間になりたい					94.3	95.4
いじめはいけないことだと思う					95.5	95.3
人の役に立つ人間になりたい(「どちらかといえば、そう思う」を含む)	96.9	96.3	92.7	94.7	95.4	95.0
将来の夢や目標を持っている(「どちらかといえば、あてはまる」を含む)	83.1	85.4	54.3	73.5		

#### 【1年生】

##### 実態

- ・友達と会うのは楽しいと感じている生徒も多い。
- ・素直で決められたことはきちんと守れる生徒が多い。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒は高い割合である。
- ・「将来の夢や目標を持っている」においては県平均より低い。

##### 対応

- ・中学校3年間の進路学習を通して、生徒それぞれの自己理解を深めさせ、将来の夢や目標をしっかりともたせる。

#### 【2年生】

##### 実態

- ・「学校に行くのは楽しい」の問いに8割の楽しいと答えている。
- ・本校の学校生活が生徒にとって楽しく学ぶ空間であることが分かる。
- ・「将来の夢や目標を持っている」かの問いに、半数弱の生徒がもてていないと答えている。

##### 対応

- ・全生徒が「学校に行くのは楽しい」と思えるように、学級の雰囲気や授業の指導に工夫を行う。
- ・進路学習の充実を図り、個性と将来の職業を考えさせたい。
- ・8月に職場体験学習を行い、将来に向け考えるきっかけにしたい。

#### 【3年生】

##### 実態

- ・自己にかかる責任や行事、進路等の悩みやプレッシャーも増え、学校が楽しいと考えられない状態である。
- ・約4割の生徒が自己肯定感をもてずにいる。
- ・人の気持ちの分かる人間になりたいと思っていない生徒が5%いる。
- ・社会の出来事に興味を持たない生徒が約半数いる。

##### 対応

- ・学校行事などをとおして、さらに学校が楽しいと感じさせる。
- ・さまざまな場面で、生徒を「認める」「賞賛する」など、見える形で励ます。
- ・道徳教育の深化を図る。

#### ご家庭へのお願い

- ・進路選択や受験を控え、緊張感を持った子どもさんがほとんどです。ご家庭では、励ましの声かけをされたり、安心できる居場所を作ってあげてください。
- ・子どもたちの悩みや変化に気づくためにも、家族で「会話」する場をもってください。